

報道関係 各位

平成20年12月25日

社団法人日本イベント産業振興協会

「2008第4回日本イベント大賞」決定！

社団法人日本イベント産業振興協会（経済産業省所管、会長・中村雅哉、東京都千代田区）では「第4回日本イベント大賞」を実施致しました。

今年の日本イベント大賞は、「大賞」と「制作賞」の2つのカテゴリーに分かれており、「大賞」についてはさらに「企業イベント」「社会貢献」「地域振興」「学生」の4つの部門に分かれています。今年4月よりこの2つのカテゴリーに関して作品の募集を開始し、8月末に締め切り9月以降3次に亘る厳正な審査を行い、2008年の大賞は「株式会社講談社」が主催する『島耕作社長就任会見&乾杯式』に決定しました。

応募作品は去年の倍となり、地方の時代を反映して今年も地域振興関係と社会貢献関係の作品が、大賞・制作賞を含めて全体の7割を占めました。

今年特に目立ったのは、環境関連と学生のイベントです。環境関連のイベントは全体の1割を占め、エコロジーの浸透にイベントが活用されている実態がうかがえました。学生によるイベントは、多彩なアイデアでのびのびと明るく地域の人々とイベントを楽しんでいる姿が印象的でした。また今回は旧来のイベントの概念に収まらない携帯を活かしたイベントや、民間企業と独立行政法人とのコラボレーションで成立したイベントなど、新たなモデルとなるようなイベントが登場しています。

日本イベント大賞は、イベントの新しい市場の創出と優れた人材の発掘を目的に「新しいイベントやビジネスのインキュベーター」となることを理念としており、総合的なイベント表彰制度としては日本で唯一のものであり、イベント業界のさらなる飛躍を目指すものであります。

入賞作品の詳細は以下のとおりです。

「2008 第4回日本イベント大賞」

【大賞】

イベント名称	島耕作社長就任会見&乾杯式
受賞者	株式会社講談社
イベント概要	08年5月28日(水)品川ステラボールにて、「島耕作の社長就任会見」、サントリー「ザ・プレミアム・モルツ」の協力で、島耕作の社長就任を祝う「乾杯式」を開催。就任会見には島耕作(アニメ)が登場。また、作者弘兼憲史先生、ファン代表として、辰巳琢郎さん、次長課長、中川翔子さんが、そろって乾杯式を開催しました。
受賞理由	社長就任会見というリアルなイベントを起点に、クロスメディアを駆使した壮大なプロモーションが展開され、4億円以上のパブリシティ効果を上げた。アニメーション映像によって「島耕作」を再現し、リアルな就任式を行うという、かつて例を見ないオリジナリティあふれる新鮮な企画である。面白く華やかで話題性も高く、主催者、協力会社の双方にも大きな成果を残したイベントと言える。

「2008 日本イベント大賞」部門賞

企業イベント部門

イベント名称	ケータイ国盗り合戦 2008 年夏の陣
受賞者	株式会社ジェイアール東日本企画 株式会社サイバーマップ・ジャパン
イベント概要	携帯電話の位置情報通信機能を活用し、旅行や出張・通勤、ちょっとしたお出かけのときに移動する楽しみを感じていただくことを目的として、「ケータイ国盗り合戦 2008 夏の陣」を開催。リアルな移動（旅）とサイト上の仮想空間である携帯ゲームが合体した、これまでにはない新しいケータイエンタテインメントイベントです。
選考理由	ゲームとしては非常にダイナミックであり、リアルなイベントの要素を組み合わせることで、参加型イベントとしての魅力も強く打ち出している。10万2000人もの利用登録者を数え、参加者間のコミュニケーション量拡大のために、SNS を上手く活用している。JR グループ関連のイベントとしては、全国エリアでの実施も珍しい。今後の発展性も期待できるイベントである。

社会貢献部門

イベント名称	大学対抗スポーツごみ拾い大会
受賞者	日本スポーツ GOMI 拾い連盟 馬見塚健一
イベント概要	「ごみ拾いは、スポーツだ！」8 大学総勢 70 人で「第 1 回スポーツごみ拾い大会」がどしゃ降りの渋谷を舞台に繰り広げられました。各チームに審判をつけ、チーム員同士が決められた距離を保ちながらチームワークで声を掛け合い制限時間の中でごみ拾いを競う姿はスポーツそのもの。審判はごみの質と量でポイント制とし、地域のごみ分別法を一番の基準としました。優勝は日本女子体育大学の女の子 7 人組。1 時間 30 分の競技時間で総重量 120 キロの半分となる、60 キロものごみを拾ってきました。「スポーツで街をきれいにする。」今後も、いろいろな街で開催していきたいと思っています。
選考理由	単純で分かりやすく、社会的な意義も大きいイベント。ごみ拾いによる社会貢献活動は各地で行われているが、ルールを設けてタイムトライアルにし、スポーツにしたところが非常にユニークである。このアイデアの面白さを全国に広げ、スポーツを通じた社会貢献活動の輪を波及させて欲しい。今後の継続発展に期待したいイベントである。

地域振興部門

イベント名称	光タワープロジェクト ～市民の、市民による、市民のための新東京タワー景観シミュレーション
受賞者	平成光勸進プロジェクト実行委員会
イベント概要	東京下町墨田区にて、新タワー（東京スカイツリー）建設予定地の夜空に、サーチライトを使って、610mの光タワーを描き、その存在感を体感するプロジェクト。趣旨に賛同する“旦那集（=会員）”を募集し、資金調達を実現。運営を含め、文字通り「市民の、市民による、市民のための景観シミュレーション」イベントとなった。
選考理由	「610mのタワーって、見てみないとわからないよね！」というシンプルな動機から、地元住民が実行委員会を立ち上げ取り組んだイベント。「勸進」という下町気質に支えられた資金調達によって実現に至り、今後の街づくりに対する住民の意識も大きく変化させた。1年で解散予定であった実行委員会は、現在でも街に役立つことを目的とした活動が続いており、次なるアクションにも期待したい。

学生部門

イベント名称	「キネマ Ciao！」
受賞者	京都西陣千本商店街振興組合
イベント概要	2007 年公開「オリオン座からの招待状」のモデルの跡地にしてロケ地でもある京都西陣千本商店街の各店舗を一つの映画、従業員を女優・俳優に見立て、手書き看板風のポスターを店頭に掲示し、映画産業で賑わった昭和 30 年代頃を取り戻すと共に「オリオン座からの招待状」のプロモーションを兼ねたイベントです。
選考理由	学校のフィールドワークとして取り組んだ、映画のプロモーションおよび商店街の活性化イベント。キネマ発祥の地という歴史と文化を生かし、映画の原作縁の地である商店街を、当時（昭和 30 年代）をイメージした手作りポスターで盛り上げ、キネマファンの誘引も促した。企画～実施～報告書作成を通じて、イベントのノウハウを実体験によって学べるだけでなく、商店街の店主へのヒアリング調査などの活動は、学生達が社会性を身につけるカリキュラムにもなっている。

「2008 日本イベント大賞」制作賞 （制作賞は特に順位を設けていません）

イベント名称	第 20 回昭和新山国際雪合戦
受賞者	昭和山国際雪合戦実行委員会
イベント概要	スポーツ雪合戦は雪国の子どもたちの遊び・雪合戦を進化させた壮瞥町発祥の冬のニュースポーツ。その頂点を決める大会が昭和山国際雪合戦で平成元年から開催している。今では来場者 25,000 人のイベントに成長し、日本雪合戦連盟には 25 道県 20 連盟が加盟、北欧でも共通ルールによる欧州選手権が開催されている。
選考理由	人口 3,000 人の町で、数名の有志によって発祥したスポーツイベントが国際交流にまで発展している。雪に囲まれた冬の北海道で、知恵やアイデアを積み重ね、20 年間にわたり拡大し続けているイベントである。冬季オリンピックへの参加という大きな目標を掲げ、雪玉製造器やヘルメット、シューズなど独自の用具の開発、ルールの改正や審判の育成など、競技の成熟に対する継続的かつ積極的な取り組み姿勢が高く評価された。

イベント名称	南阿蘇えほんのくに第 3 回誕生祭
受賞者	南阿蘇えほんのくに誕生祭実行委員会、株式会社キャン・ドゥ 福田 博文、株式会社熊本放送
イベント概要	日本で 1 ヶ所だけでも良いので、みんなが優しくなれる場所・南阿蘇えほんの国づくりを目指し、その 1 年間の成果発表の場として、第 3 回を迎えた南阿蘇えほんの国誕生祭。ボランティアによる手作りの企画を広がる地元のイベントとして、広く PR に努め、各イベントを運営サポートしている。広報予算 0 円のイベント告知など含めて、年間を通じてサポートしている。
選考理由	絵本をイベントのテーマにした新しさが光る。「国づくり会議」など、住民がボランティアとして楽しみながら参加し、仲間の和を広げながら企画・運営していることに好感が持てる。企業からの協賛を得るなど、過去の応募時（第 1 回）と比べ規模も内容も大幅にスケールアップしている。今後も継続的な開催によって、地域のイメージとして定着していくことを期待したいイベントである。

イベント名称	Premium SKY-AQUARIUM Party -Diamond Sky Beach-
受賞者	株式会社博報堂 株式会社ディラン
イベント概要	夜空に浮かぶ真夏の楽園。 - Diamond Sky Beach - 夏をテーマにしたトークショーとキュートなファッションショーを 2 大コンテンツとし、招待者限定ウエルカムタイムも展開。後半は DJ&VJ のパフォーマンスが会場の熱をさらに上げる。52F（六本木ヒルズ）全フロアが会場という贅沢な一夜限りのプレミアムパーティー。
選考理由	au のショッピングサイトのユーザー層をターゲットにした、モバイルとリアルの連動イベント。ビーチファッションショーと携帯ショッピングを連動させた、クライアントのニーズに見事にマッチした SP イベントと言える。六本木ヒルズを会場に、都会ならではのスケール感やプロらしい洗練されたアイデアが盛り込まれたイベントである。パワーポイントを駆使したインパクトのあるプレゼンテーションにも高い評価が集まった。

「2008 日本イベント大賞」 特別賞

イベント名称	ユーミンスペクタクル シャングリラ ～ドルフィンの夢～
受賞者	株式会社シミズオクト シャングリラ 舞台美術グループ
イベント概要	シャングリラ ～ドルフィンの夢～女王ユーミンのコンサート、ロシア最大のサーカス団、メダリストのシンクロナイズドスイミングが地上・空中・水中で融合する夢のスペクタクルショー。アリーナ中央に壮大な円形プールを設置し、360度全方位が正面となる。さらに水面が一瞬にステージに変化、まるで人が水の上に浮かんだような不思議な光景を創出し見るもの全てを魅了する。観客はパノラマ感覚でステージの演技を堪能し一体感のあるステージを体感。そして上空から空中ブランコが降りてきてサーカスの演技、まさに水中、地上、空中をステージにした立体感のある史上初の立体演出を可能にした。今回のショーが実現できたのは、演出家の松任谷さんの夢を共有し、全出演者・スタッフがその夢に挑戦し、信頼という絆に結ばれたからである。
選考理由	大量の水を使用するプールを、常設会場ではなく全国6カ所を回るコンサートツアー会場にとり入れる斬新な発想、それを可能にした優れた技術力が高く評価された。こうした演出技術の進化は、イベントの演出分野におけるイノベーションにも結び付く。壮大なチャレンジに取り組むプロの技を活かした、新たなイベントの登場に期待したい。

イベント名称	新教育手法としての「たつの市・地域活性化イベント」
受賞者	兵庫県立龍野実業高等学校デザイン科
イベント概要	将来の地域人材の育成を担う、専門高校の新しい教育への挑戦として、高校生が「地場産業の皮革」を使った「ファッションショー」と、「江戸時代の町割を残す城下町の風情」を活かして、空き町屋をギャラリーとする「町じゅう美術館」を実施し、空洞化する町に賑わいを取り戻す契機づくりに挑んだ。
選考理由	人を成長させるイベントの効果を活用した、新しい教育プログラム。卒業と同時に、実社会に旅立つ実業高校の生徒にとって、非常に価値ある社会経験である。校外で大人や子供達とのふれあいを通じて学んだことは、学力では得ることのできない“人間力”であり、その能力を養うためにイベントの手法が活かされた「新教育手法」のモデルケースとして高い評価を得た。

報道資料

社団法人 日本イベント産業振興協会について

社団法人日本イベント産業振興協会(所管:経済産業省 会長:中村雅哉 東京都千代田区)は、平成元年に通商産業省(当時)の外郭団体として設立され、イベントの企画・制作・主催まで、イベントの幅広い分野にわたる企業や団体、教育機関で構成される日本で唯一のイベントに関するユニークな社団法人です。

近年イベントは、優れたコミュニケーション手段として、また体験や感動による人々の意識変化を生む契機として、また、新しいビジネスモデルや技術の実験の場として、改めてその機能と役割が見直されています。イベントをより効果的に役立てるために、当協会ではイベントやイベント産業に関する調査研究、各種のイベント情報の提供、人材育成、内外関係団体との交流、支援などの事業活動を行っています。

日本イベント大賞とは

設立の経緯と理念

社団法人日本イベント産業振興協会では、平成16年に協会の15周年記念事業として日本イベント大賞を実施し、以降この事業を継続しております。

日本イベント大賞は、日本で唯一の総合的なイベントの表彰制度です。企業の販促活動や地域の活性化に於けるイベントの役割と可能性を広げ、優れたイベントとイベントの制作者を発掘、表彰し、「新しいイベントやビジネスモデルのインキュベーター」となることを基本的な理念としています。

したがって日本イベント大賞は、イベントの新しい技術やコンテンツの開発により、また新しいイベントの仕組みや領域への取り組みにより優れた成果を収めた主催者や制作者、あるいは地域や社会に貢献する新しい事業やビジネスを開発した主催者や制作者に贈られます。

賞の構成

部門賞と大賞

- ・ 4つの応募の部門を設け、それぞれの部門で最も優れた作品に部門賞が贈られます(イベントの主催者が受賞者です)
 - ⅰ) 企業イベント部門 ⅱ) 社会貢献部門 ⅲ) 地域振興部門 ⅳ) 学生部門
- ・ 4つの部門賞の作品の中で最も優れた作品にイベント大賞が贈られます(イベントの主催者が受賞者となります)。

制作賞(副賞賞金100万円)

- ・ イベントの企画・制作・実施に貢献した人またはグループ、3作品に贈られます(イベントの制作者が受賞者です)。

制作賞は協会会員の株式会社T・O・Gグループが2006年に創立30周年を迎え業界に感謝の意を表し、業界の発展を支援するという趣旨で第2回から創設されたものです。

日本イベント大賞	}	大賞	大賞 (1本) 部門賞 (4本) (トロフィー及び表彰状を授与)
	}	制作賞	(3本) (楯及び表彰状及び副賞100万円を授与)
	}	*特別賞	大賞や制作賞には該当しないが、審査委員会の特別な推薦があったイベント

日本イベント大賞の全体経過について

応募及び審査について

応募数

第4回日本イベント大賞は2007年9月から2008年8月末までに実施されたイベントを対象とし、2008年4月から応募を開始、8月末に締め切りました。大賞の応募は、企業イベント部門45作品、社会貢献部門49作品、地域振興部門61作品、学生部門7作品、合計162作品。制作賞では、59作品の応募があり全体で221作品の応募となりました。

審査

大賞の審査は、第1次審査で162作品から40の作品に、第2次審査では16作品にそれぞれ絞り、11月27日に最終審査を行いました。

制作賞は、第1次審査で59作品から35作品に、第2次審査では13作品にそれぞれ絞り、11月26日に最終審査を行いました。

表彰式

表彰式は2009年1月28日(水曜日)にロイヤルパークホテル(東京)にて開催されます。

最終審査委員

(1) 大賞・最終審査委員

・審査委員長

望月 照彦：多摩大学大学院 教授

・審査員

浅葉 克己：アートディレクター

川村 治：株式会社テー・オー・ダブリュー 代表取締役社長

桑田 政美：京都嵯峨芸術大学 教授

酒井 靖仁：ぴあ株式会社 電子チケット・メディア流通事業本部
コンテンツコミュニケーション局 事業開発部長

田中 里沙：「宣伝会議」取締役副社長

平野 暁臣：空間メディアプロデューサー / 株式会社現代芸術研究所 代表取締役

宮本 倫明：Landa Associates Ltd 代表

(2) 制作賞・最終審査委員

・審査委員長

菅原 道郎：株式会社乃村工藝社 執行役員営業戦略本部副本部長

・審査員

大井 康祐：株式会社NHKインタープライズ シニア・イグゼクティブ・プロデューサー

小坂井 彰：株式会社博報堂プロダクツ PR・イベント事業執行役

澤田 裕二：株式会社SD 代表取締役社長

真木 勝次：株式会社テー・オー・ダブリュー 取締役副社長

松添 茂夫：株式会社電通テック 常務取締役

間藤 芳樹：株式会社マッシュ 代表取締役

敬称略

この件に関するお問い合わせは、下記担当者までお願いします。

〒102-0082

東京都千代田区一番町13 一番町法眼坂ビル3F

社団法人 日本イベント産業振興協会

総務本部 広報担当 高澤 守

TEL 03-3238-7821

FAX 03-3238-7834